

積水化成工業株式会社

CSR・広報部

〒163-0727 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 (小田急第一生命ビル)

TEL : 03-3347-9711 E-mail : m01271@sekisuiplastics.co.jp

耐熱・難燃性発泡体を開発

積水化成工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、このほど、**輸送機器などの構造部材に適応可能な、耐熱性を持つ難燃性のエンジニアリングプラスチックビーズ法発泡体を開発し、製品化に向けて準備を進めています。**

1. 開発の経緯

自動車や航空機などの輸送機器分野では、省エネや二酸化炭素排出量低減の観点から、構造部材の樹脂化やCFRPの活用などによる軽量化が進んでおり、構造部材として適応可能な、高耐熱・高強度かつ軽量化に寄与する樹脂素材が求められています。

積水化成工業では、このような市場の要望に応えるため、耐熱・難燃性発泡体を開発しました。

2. 特長

■ 耐熱・難燃性発泡体（エンジニアリングプラスチックビーズ法発泡体）の特長

- ① 耐熱性：130℃近い環境下でも寸法安定性に優れています。
- ② 難燃性：UL94 V-2 (10倍発泡、t=12mm) 相当です。
- ③ 軽量性：発泡倍率は5～10倍の範囲で調整可能です。

■ 高耐熱・難燃性発泡体（スーパーエンジニアリングプラスチックビーズ法発泡体）の特長

- ① 耐熱性：180℃近い環境下でも寸法安定性に優れています。
- ② 難燃性：UL94 V-0 (10倍発泡、t=12mm) 相当、低発煙性です。
- ③ 軽量性：発泡倍率は5～10倍の範囲で調整可能です。

※耐熱性はJIS K6767に準拠して測定しています。各データは測定値であり、保証値ではありません。

3. 今後の展開

優れた耐熱性、難燃性、軽量性、断熱性などを活かし、自動車、航空機、船舶などの輸送機器に加えて、電子機器などの産業分野の構造部材としての展開が可能と考えています。

なお、9月5日から7日まで開催の「第1回 名古屋 クルマの軽量化技術展」に展示する予定です。ぜひ当社ブース（第3展示館6-16）へお越しください。

以上